

INTEGRATED REPORTING <IR>

IIRC ニュースレター 1月号

「統合報告」： Larry Fink 氏の ビジョンに沿う CEO の最良ツール

世界最大の資産運用会社 BlackRock の CEO である Larry Fink 氏は、S&P の 500 社及びヨーロッパの大きな組織のチーフ・エグゼクティブにレターを書きました。彼の手紙はショートターミズムに取り組むためのビジョンを提案し、企業に彼らの戦略を報告するよう促した。彼のレターの中で、企業の戦略を批評し、理解、議論、チャレンジすることは取締役会の責任であると何度も主張しています。この変化への力強い呼びかけは、IIRC が統合報告の地球規模の紹介を通して達成しようと試みていることの完璧な手本です。CFA Institute、Global Financial Reporting Policy の会長である Sandra Peters 氏はこのレターに対し、コメントをしています。国際統合報告評議会 (IIRC) がレポートングにおける価値創造のためのフレームワークを発展させようとする努力に努めていることは、Fink 氏が提案していることに非常に即したものであると述べています。

統合報告書の主な目的は、より広範にコミュニケーションを取ることにより、財務資本の提供者が利用できる情報や、効果的な資本配分の決断を手助けし得る関連した情報の質を向上させることにあります。そして Larry Fink 氏が彼のレターで述べているように、投資家のショートターミズムの限界の一つの理由は、企業のテクノロジーやイノベーションが彼らのビジネスにどう影響を与え、その競争力の脅威が生態系に作用しているのか、それらについての教育を受けていないことにあるとしています。

インベスターマガジン：

Vic Super の
投資チームは
統合報告を好む

Investor horizons –
長期主義へと移行？

IIRC
Neil Stevenson 氏

出版：

価値創造：
統合報告と投資家利益

~~~~

ACCA と IMA：  
株価から共通価値へ

~~~~

SustainAbility：
持続可能な法人

Larry Fink 氏は、全ての CEO は株主に対し長期的な価値創造への戦略的フレームワークを毎年明確に述べるよう要請をしています。世界中の企業はすでに国際統合報告フレームワークを、短期、中期、長期に渡る彼らの価値創造ストーリーを伝えるために用いています。私たちは企業に、彼らの全ての資源が価値を創造していると説明する明瞭かつ簡潔な統合されたストーリーを彼らのビジネスが伝えていると保証するために統合報告を用い、それによりこのレターに応じるよう働きかけています。

「統合報告」フレームワークは、ガバナンスが責任を負い、これらが、組織戦略やガバナンス、成績や展望が時間をかけてどのように価値創造をもたらすかということに対する最終的な責任を有していることを明らかにしています。統合報告に向かって進んでいる企業は、CEO は彼らの取締役会が企業の戦略を再検討していることを明確に断言すべきだという Larry Fink 氏の声明に応じる最良のポジションにいます。

BlackRock でマネージメントディレクターおよびコーポレート・ガバナンスのグローバル・リーダーを務めている Michelle Edkins 氏は、IIRC Council の大切な一員であり、ガバナンスや企業報告の発展への彼の貢献は広く認知されています。

このレターはさらに、投資家が会計情報以上のものを彼らの投資判断において考慮にいれているという証拠でもあります。世界最大の資産運用会社は世界中のリーディングカンパニーに、今こそがあなたの報告体制を発展させる時であるという明快なシグナルを送りました。そうすることによってはじめて、Larry Fink 氏が述べているように、株主はあなたの年次報告書を適切な文脈で評価することができます。

このレターは 2016 年 2 月 2 日の Business Insider において報告されました。

貴社の報告書は、 近々発行される予定ですか？

「統合報告」事例データベースは「統合報告」における新しい実践とともに絶えず更新され、統合報告書を発展させ、または発展させようと試みる組織へのキーとなる知見を提供します。2012年にデータベースが初めて立ち上げられて以来、私達が見たイノベーションは信じられないものでした。そしてまさにピークを迎えようとしている報告シーズンと共に、私たちは既にデータベース上で利用可能な230の事例に新たな事例を加えようとしています。

最近追加された事例には、Marks and Spencer、Titan、Banca Fideuram、National Gridがあります。これらの報告書が追加された理由として、価値創造や株主との関係性、ビジネスモデル、実績、情報の結合性等の領域への彼らの重点的な取り組みがあります。

私たちは特徴づけることのできる報告書を確認するうえで、データベースのユーザーの知見を頼りにできます。もしあなたの組織、またはあなたの知っている別の組織が、統合報告の指針や内容要素、基本概念のいずれかの適用において傑出していたら、あなたはここに提案できます。また私たちは300を超える組織の報告書のリストを特徴づけています。それらの企業の報告書はIIRCまたは国際統合報告フレームワークについて言及していたり、「統合報告」ネットワークへの参加によるフレームワークに影響を与えます。もしあなたの報告書がこのリストに取り上げられたいなら、info@theiirc.org にメールし、知らせてください。

気候変動 Financial Disclosures において、 「統合報告」タスクフォース が加わりました

IIRC は気候変動 Financial Disclosures の会員であることについての声明を歓迎します。これらの特別委員会への加入は、「統合報告」の傑出したタスクフォースが多数加わることで、今日我々の資本市場が遭遇するリスクの幅広さや複雑さについての伝達において、分離した財務情報は不十分であるということの新たな理解の最先端を求めることができます。この理解は気候変動などのリスクが組織の価値創造能力に時間をかけて影響を与える可能性があるという考えに基づいています。

IIRC は、討論者グループに参加しました。主要な人物として IIRC Council のメンバーである Koushik Chatterjee 氏 (Tata Steel) や、Thomas Kusterer 氏 (EnBW)、Russell Picot 氏 (HSBC)、同様に IIRC Ambassador である Steve Waygood 氏 (Aviva Investors)、個々人の間でも密接に仕事をしています。IIRC は、「有言実行」している組織が Unilever や Eni のような統合報告ビジネスネットワークにおける組織からのリーダー達を含む議論を整えるであろうことを重要だと考えています。

声明について、IIRC の Paul Druckman 氏は、「この特別委員会のメンバーたちは、企業が、気候変動のリスクに 대응するために金融市場が開示から望んでいるものを、理解する手助けをするもっとも重要な位置にいます」と述べています。私は、既にメンバーの多くが彼らの組織で、包括的なフレームワークとして統合報告のコンセプトを適用する恩恵を経験していることを嬉しく思います。気候変動についての開示は統合報告の 6 つの資本、主に自然、社会資本において重要な指標です。私は、この特別委員会とその成果は、マーケットが適切に気候変動のリスクについての説明責任を負うことを始めるために、実質的な違いを生み出すだろうことに自信を持っています。

世界経済フォーラム からの洞察

ダボスで開催された今年の世界経済フォーラムにおける議論およびテーマは、世界経済の安定的、かつ持続可能な発

展を確保するために、企業報告がこの会議で発表された高い理想を実現することにおいて重要な役割を継続して担うことと説明しました。

World Bank Group CFO の Bertrand Badré 氏は、この会議の後に世界経済フォーラムのブログに、「組織によって創出された真の価値を理解するためには、私たちはより幅広く見る必要があります。このことは、伝統的な会計報告書だけでなく、組織が自身の非財務資源をどのように管理するのかについて理解することに時間を費やすことでしょう。」、なお、「研究はより沢山の投資家たちが非財務情報を彼らの意思決定に組み入れているということを示しており、この包括的な価値を伝えるために組織が用いるツールは「統合報告」と書いています。

PwC の統合報告政策担当である Superna Khosla 氏はこの会議の後に、「私たちは火曜の WEF ミーティングで私達の第 19 回グローバル CEO 調査を開始しました。この調査は成長や CEO アジェンダにおいて掲げられていることに対する楽観(もしくは別のもの)についての洞察を含んでいます。以前より明らかになったことは、企業報告の世界をより全体論的な、より幅広い報告へと向かわせる軌跡に影響を与えるだろう、興味深いテーマの絵面でした。私にとって、それは「統合報告を意味します。」と書いています。この調査は、CEO の 76% が成功を財務利益以上のもので定義し、59% がより彼らの目的や価値について伝えることを望んでいることを明らかにしています。Superna Khosla 氏は、「解決は簡単ではないが、思慮深い出発点のように感じられる外部報告のためのビジネスモデルや戦略についての開示要求の要素の幾つかを紐解いていくのが糸口だ。私にとって、それはビジネスを行うことの真のコストを理解し、達成されたより幅広い成果についての卓抜した洞察を推進することを意味する」と結んでいます。

S&P は「マーケットの焦点を長期に合わせるための強力なツール」としてダボスにて革新的な新しい指標を発表しました。S&P Long-Term Value Creation Global Index は、持続可能な基準や財務品質に基づいた長期価値を創造するための可能性を有する企業を測定するために設計されました。6 つの世界最大の機関投資家は、「企業と投資家の行

動に影響を与える強力なカタリスト」としてこの指標への彼らの指示を表明しました。多くの投資家は最初この新しい指標に追随した基金におよそ 20 億米ドルを配分すると約束しました。その配分額はやがて大幅に増額すると期待されています。

IIRC の CEO である Paul Druckman 氏は ブログにて次のように言明しています。「年を追って、WEF は、各資本と関連付けられたリスクを管理することはもはや選択肢ではないとし、それは企業経営を成功させるために不可欠であり、企業の資本と評判についてのコストに直接的に影響を与えるに違いなく、過去 1 年間にわたり、投資家と規制当局は文脈付けられた情報への彼らの需要量を増加させてきています。このトレンドは、私の予想では、2016 年になって初めて強まるでしょう」。

「統合報告」が B20 北京サミットにて 注目される

IIRC の代表が B20 の特別委員会に参加し、IIRC はこの年の G20 プロセスにおいてさらにもう一度重要な役割を演じました。この参加を通して、私たちは企業報告が国際金融システムの構造を決定するためのキープロセスに位置しているということを確実にしました。私たちは、企業報告が包括的かつ持続可能な繁栄を果たす手助けすることができ、マーケットのリーダーたちのこの効果に対する実践的な接続や提案を伴ってこのプロセスの全てにおいて関与するということを確認しています。

中国は今年の G20 の議長であり、中国企業は統合報告を取り入れ始めています。CGN Power は中国本土で最大の原子力発電企業であり、統合報告が彼らの将来の戦略を考える手助けになるため、企業報告を統合報告に向けて進展させています。原子力発電は非常に長いサイクル（およそ 100 年）を持ち、統合報告はこの長期的な展望を理解する手助けとなります。彼らは世界最大の原子力発電者になるというビジョンがあり、統合報告を彼らがいかにそれを遂げ

ようとしているかを説明するために用いています。CLP や Link REIT、Swire Pacific といった香港の上場企業と共に、統合報告は拡大中華圏において足がかりを掴み始めています。

IIRC の Chief Strategy Officer である Jonathan Labrey 氏は、B20 のキックオフ・ミーティングのために北京にいました。彼は、「明快かつ実用的で実行可能な提案を提示するという中国の公約は、彼らの G20 と B20 におけるリーダーシップの開始より明らかなです。中国の公約は、それぞれの特別委員会が明瞭な権限を持ち、プロセス全体において企業団体と G20 政府とが定期的に議論を交わすことを通じて達成されるでしょう。昨年議長であったトルコは統合報告についての 3 つの提案を提示しました。今年はすぐにもより強力な公約に移行し、実行へのロードマップに近づきそうです」と述べました。

「統合報告」採択のための 技術的設計図における 協議はまもなく開始

「統合報告」採択のための技術的設計図は、協議のために今月後半に発表されるでしょう。この設計図は「統合報告」Technology Initiative の参加者によって開発され、次世代の企業経営と企業報告の実践を支え可能にする技術能力を作ろうとするこれらの試みへの指針を説明します。この設計図は組織の技術的要求の 2 つの部分のために開発されました。一つは組織における次世代の経営の実践と報告の紹介を考え、計画する CFO の情報要件を調査するものです。二つ目は、そのような要件に合致する情報及び技術構造を実現する立場にある CIO (Chief Information Officer) が直面する課題に焦点を当てています。

CFO のニーズを考慮し、コンサルテーション・ペーパーは、2016 年 2 月にコメントとフィードバックのために発表されるでしょう。そして IIRC は、彼らのフィードバックがこの設計図が使用者の要求に合致していることを確実にするため

に、市場に呼びかけるでしょう。

<IR> Technology Initiative は 3 カ年の計画であり、統合報告採択者が彼らの目標を達成することを手助けするために、科学技術をどのように適用できるのかということについてより深い理解の構築を模索し、そして企業報告の進展が科学技術にどのような影響を与えるか、受けるかを考えるものです。より詳細な情報が欲しい、またはこのイニシアティブに参加したい方は techinitiative@theiirc.org にメールください。



Contact: juliet.markham@theiirc.org

Copyright © 2016 International Integrated Reporting Council, All rights reserved.
[unsubscribe from this list](#) [update subscription preferences](#)